資料1－14

「安全に資する科学技術推進プロジェクトチーム」 今後の進め方について（案）

1． 経緯

大規模災害、各種テロ、感染症等、近年国民を脅かす様々な事態が多数発生

⇩

我が国の危機管理体制を強化し、安心・安全な社会を構築することは喫緊の国家的課題

⇩

第3期科学技術基本計画（以下第3期基本計画）の策定に向け「安全に資する科学技術」について、早急に検討する必要性

2． 現状認識

（総論）

○ 第3期基本計画における重点4分野再編成も含めた「安心・安全」分野の明確化

○ デュアルユーステクノロジーに関し、国が保有すべき科学技術と民間が保有している科学技術（民生技術）との連携・相互活用の強化

○ 現場におけるテクノロジーギャップ（技術欠落）の解消、及び、ニーズとシーズの対応・適用に関する枠組みの検討の必要性

○ 我が国が比較的優位な技術については、国際標準化を念頭に置きつつ、優位性を確保できる仕組みを政府全体で検討する必要性

○ 安心・安全の分野に関する、科学技術系人材不足の中長期的対策

○ ある脅威に対し、直接的に対抗する単一の技術のみならず、複数の代替技術を、常時、基礎研究などから発掘

（各論）

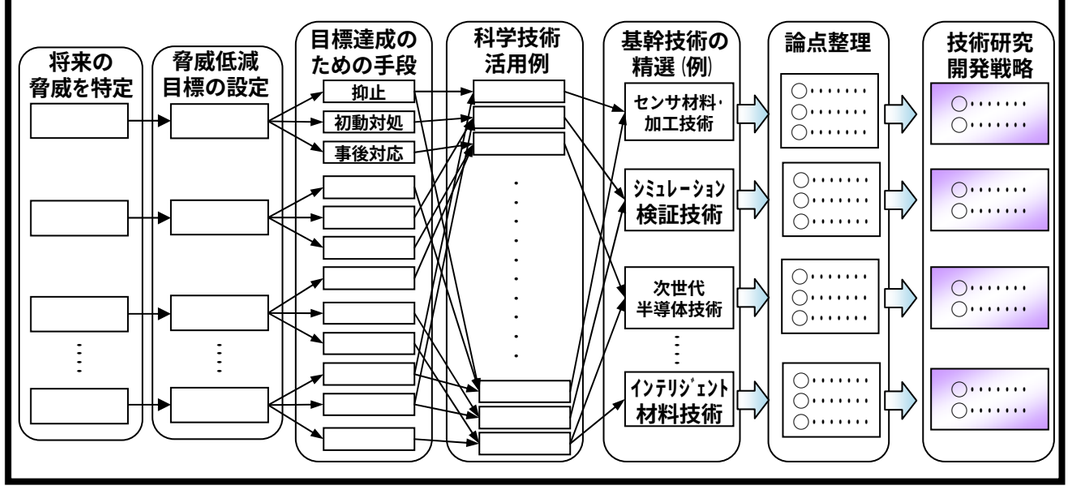
我が国を取り巻く様々な脅威（図1）について、以下の視点から、当面議論すべき「緊要性」の高い脅威について**朱色**で示す

○ 国民が否応無しに、その脅威にさらされるもの（ＮＢＣテロ、凶悪犯罪、大規模災害など）

○ 近年の国内外の情勢の変化に大きく影響を受け、国民の不安が、今後更に増す可能性が高い（感染症、サイバー犯罪、都市部の脆弱性等）

図1

図2



3． 必要な検討項目と枠組み

（1） 科学技術政策及び第3期基本計画における「安心・安全」の位置付け

（2） 「安全に資する科学技術の意義、目標及び方針」の策定

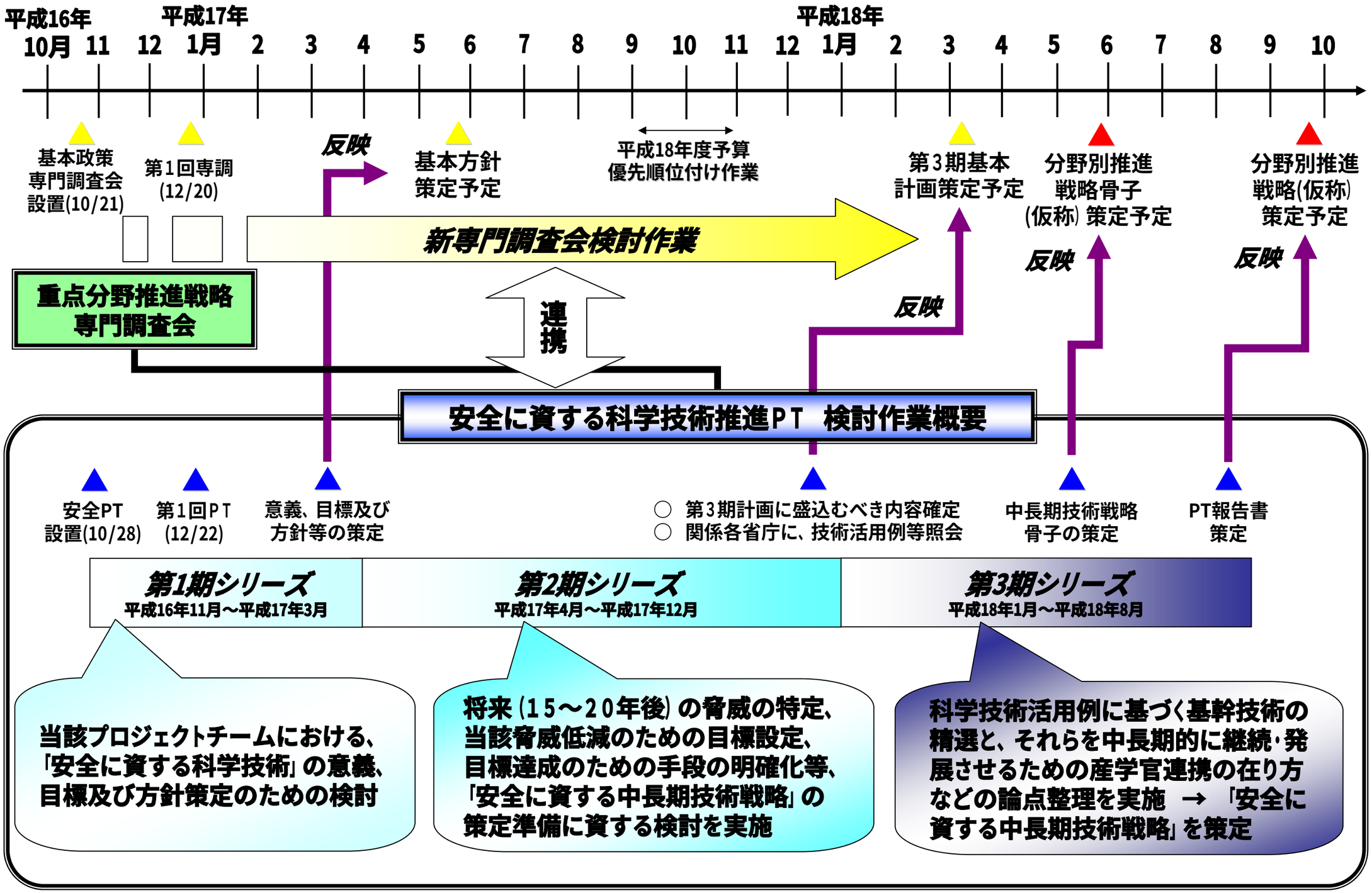
（3） 「安全に資する技術研究開発戦略」の策定（図2）参照

実施 → 基本政策専門調査会（平成16年10月21日設置） → 明記 → 第3期科学技術基本計画

⇩

実施 → 安全に資する科学技術推進プロジェクトチーム（以下ＰＴ）（平成16年10月28日、重点分野推進専門調査会の下に設置）

「安全に資する科学技術推進プロジェクトチーム」　スケジュール概略（案）



※　上述の、第3期基本計画や分野別推進戦略等に関する日程については、あくまで第2期計画策定の際の状況を参考に記載